

「お金」は、生活必需品であり、数を学ぶための最も身近な教材でもあります。お金の学習の中には、一対一対応、弁別、たしざん、ひきざん、かけざん、わりざん等算数に関わるたくさんの学習要素が含まれています。また、10のまとまりや100のまとまりがイメージしやすいというメリットもあります。数字の計算には苦手意識があっても、お金の計算はやる気が出るという児童生徒も多く、興味関心を引き出しやすい教材です。

ここでは、「お金の種類」「お金の計算」「買い物学習」の大きく3つの項目にわけていますが、児童生徒の実態に合わせて取り組んでいただければと思います。お金の種類や計算が難しくても、買い物学習でのやり取りや活動を通して、楽しみながら「お金」に親しんでいくことも、大切な学習です。細かい計算ができなくても、今自分が持っているお金で買えるかどうかかわかれば、買い物はできます。児童生徒たちの「できる」から、学びを広げていってください。